

公民館情報

北浦公民館では カメを飼育しています

数年前から、北浦公民館ロビーの主となったカメの男の子（職員は「かめきち」と呼んでいます）。

水槽の清掃中は、運動も兼ねて玄関前でウォーキング（意外と速い！）しています。

お越しの際は、かめきちに、ぜひ声をかけてあげてくださいね。



【問】北浦公民館 ☎ 0291-35-3777

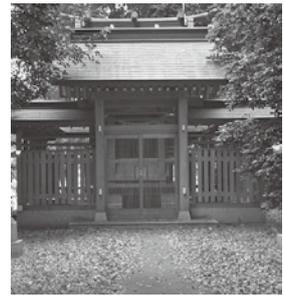
「常陸国風土記」遺称地巡り旅 5

くにつやしろ 国社

所在地：行方市小幡（諸説有）

風土記一言メモ（5）

現在の茨城県の大部分に当たる常陸国は、大化改新（645年）の際に誕生しました。それ以前は6つの国に分かれていましたが、現在の石岡が国府で国の役所である国衙がおかれ、その下に新治・白壁・筑波・河内・信太・茨城・行方・香島・那賀・久慈・多珂の11郡が設けられました。



行方の郡役所の西には船着き場や港のある、いわゆる行方の海があります。そこには海松や塩を焼く藻が生えており、古代の人々は、海藻を集めて干し、海水をかけた上で焼き、また鍋で溶かして上澄みを取る方法で、貴重な塩を手に入れていました。

役所の東には国社があり、これを縣神（古くからの土地神）と称しました。また、郡役所の敷地内には寒泉が湧いていて「大井」と呼ばれていました。大井と呼ばれたのは、郡役所の男や女がこの井戸のもとに集まり、皆で水を汲んで飲んでも足りるほどの大きな井戸だったからです。風土記ではここにも、清らかな水の貴重さと人々の営みを記しています。

※遺称地とは、遺構・遺跡があったと古くから伝承のある地のことで、諸説あります。

※表記および記述等は、講談社学術文庫「常陸国風土記全訳注」、玉造町史・郷土史家 羽生 均氏「常陸国風土記菅政友による写本を読む」等によります。

【問】生涯学習課文化・社会教育グループ ☎ 0291-35-2111

はい、こちら行方市消費生活センター！



電気料金が安くなる！などの訪問販売にご注意！！

【事例】

大手電力会社を名乗る業者が訪問し「現在、市内を回っている。検針票に1段料金、2段料金、3段料金というのがあるが、そこが正しく割引されているか確認したいので、検針票を見せてほしい」と言われた。大手電力会社を名乗っていたので信用し、検針票を見せたところ「割引されていない」と言われた。単なるプラン変更だと思い、出された書類にサインをしたところ「3年契約なので解約金がかかる」と言っていた。あとになって銀行口座番号を書かされたことが心配になり、契約書面を確認したところ、電力会社を変更する手続きであることが分かった。現在使っている電力会社を変更するつもりはない。契約した会社は信用できないので解約したい。

【解説】

平成28年に電力の小売全面自由化が始まり、小売電気事業に新規参入した事業者からの電気の供給が行われるようになりました。それに伴い、電気の契約切り替えトラブルの相談が全国の消費生活センター等に多く寄せられています。以下のポイントをおさえておきましょう。

- ①検針票は氏名（契約名義）、住所だけでなく顧客番号、供給地点特定番号など検針票の記載情報は重要な個人情報です。切り替えの意思がなければ安易に検針票を見せないようにしましょう。
- ②電力会社を変更するときは、その場ですぐ契約せずに事業者名を確認すると共に、割引適用内容、契約期間や契約解除などの条件を書面でしっかり確認しましょう。

契約を変更してしまってもクーリング・オフ等ができる場合があります。何か困ったことがあった場合や不安を感じた場合は、一人で悩まず、行方市消費生活センターに相談してください。

— まずはお電話を！ —

【問い合わせ】行方市消費生活センター ☎ 0291-34-6446